

科目名		神経生理学特論	
科目責任者	上 田 陽 一	(第1生理学 教授)	
担当者	丸 山 崇	(第1生理学 准教授)	
担当者	吉 村 充 弘	(第1生理学 講師)	
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>神経生理学において基本となる知識、理論、実験方法とその手技を学習する。神経系、神経内分泌系、自律神経系、疼痛、摂食・飲水行動および睡眠・覚醒調節機構における神経情報処理のメカニズムに関する理解を深める。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 脳を構成する細胞の種類、構造および機能を概説できる。 2) 中枢における細胞間シグナル伝達機構を概説できる。 3) 神経機能解析におけるアプローチ方法を説明できる。 4) 神経生理学のアプローチの意義と問題点を説明できる。 5) 感覚系および運動系の神経生理学のメカニズムについて概説できる。 6) 疼痛の制御メカニズムについて概説できる。 7) 神経内分泌系の調節機構について概説できる。 8) 自律神経系の中枢性調節機構について概説できる。 9) 摂食および飲水行動の液性・神経性調節機構を概説できる。 10) 睡眠・覚醒調節機構を概説できる。 			
● 評価方法	検討会での討論30%・発表30%・レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

授 業 項 目 (内 容)
神経系の構造と機能
神経系の情報伝達
感覚系の調節機構(1)
感覚系の調節機構(2)
運動系の調節機構(1)
運動系の調節機構(2)
自律神経系の調節機構
循環調節機構
体液調節機構
摂食・飲水調節機構
睡眠・覚醒調節機構
神経ペプチド(1)
神経ペプチド(2)
神経内分泌系の基礎
神経内分泌系の応用